

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が発行するソーシャルボンドへの投資について

令和3年7月1日

このたび、学校法人岡本学園（平和台幼稚園・南流山幼稚園）は独立行政法人 国際協力機構(JICA)が発行するソーシャルボンド(JICA 債)への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

この投資により JICA が実施機関となっている政府開発援助(ODA)の有償資金協力事業を通じて、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展に使用されます。また、2019年12月20日に日本政府が公表した「SDGs 実施指針改訂版」において、JICA 債の発行が SDGs 達成に必要な資金確保をするためのファイナンスとしてあげられています。さらに非認知能力を育てている子ども達が幼稚園において学ぶ楽しさや成長する喜び、トマトやピーマンの栽培などの実体験を通して国家や経済、ジェンダーなどにとらわれない地球規模での目標(SDGs)に繋がって行くことを期待し、JICA 債への投資を決定しました。このことが子ども達の未来への投資となることを確信しています。

債権名	第59回 国際協力機構債券
年限	10年
発行額	100億円
発行日	令和3年(2021年)6月29日